

# 健康♪外来ニュース

## 花粉症

No. 23 令和3年3月15日

### 「Viewアレルギー39」

\*\*\*

血液1mlから吸入系19と食物系20、計39種類の物質に対する特異的IgE抗体を一度に調べる検査です。

吸入系は、ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト、ネコ皮膚、イヌ皮膚、ガ、ゴキブリ、スキ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ、カモガヤ、オオアワガエリ、ブタクサ、ヨモギ、アルテルナリア、アスペルギルス、カンジダ、マラセチア、ラテックス。食物系は、卵白、オホムコイト、ミルク、小麦、ソバ、米、エビ、カニ、大豆、ピーナッツ、牛肉、豚肉、鶏肉、マグロ、サケ、サバ、キウイ、リンゴ、バナナ、ゴマ。

陽性の結果が出ても、今あるアレルギーの原因とは断定できず、また、これまでアレルギー症状がないなら、神経質になって身の回りから除去したり、食べるのを避ける必要はありません。

### 春霞(はるがすみ)の正体は水蒸気、黄砂そして花粉！

\*\*\*

花粉症(アレルギー性鼻炎と結膜炎)で悩む人は、日本人の約40%、地域や年齢層によっては約半数に上ります。

疫病(流行病)を免(のが)れる体のしくみが免疫。病原微生物から体を守るためにもともと備わっている自然免疫と、何らかの刺激を受けてできる獲得免疫があります。獲得免疫のうち花粉のような些細な敵に対して過剰反応してしまったのがアレルギーです。Allergyとは、本来の免疫ではない「変化した(allos)作用(ergo)」というギリシャ語が語源です。

花粉症では、花粉の刺激で鼻粘膜や眼の結膜にある形質細胞で花粉に特異的な免疫グロブリンE(IgE)抗体が大量に作られ、近くの肥満細胞の表面に結合します。そこに再び花粉(抗原)が来て抗原抗体反応が起きると、肥満細胞からヒスタミンや化学伝達物質が放出されて、数分～約2時間で局所の血管の拡張・透過性亢進、粘液分泌亢進、平滑筋収縮などが起きます(I型アレルギー反応)。このようにして鼻水、鼻つまり、くしゃみ、目の充血、かゆみなどを生じます。早めに抗ヒスタミン薬を飲んで予防します。

アナフィラキシー(anaphylaxis)は、全身に強いアレルギー反応が起きて、血圧低下、呼吸困難、意識消失、ショックなどを生じる病態で、至急にアドレナリンを注射して救命します。「防御(phylaxis)が無い(an)」状態を表す言葉です。

また、アトピー(atopy)とは、アレルギーを生じやすい素因をもつ人に現れる「奇妙な(atopic)症状」という意味です。

### アレルギーマーチ

\*\*\*

アトピー性皮膚炎の乳幼児に、年齢とともに、まるでアレルギーが行進(マーチ)しているかのように食物アレルギー、気管支喘息、アレルギー性鼻炎などが、次々と生じることを指します。アトピー体質では、血液検査で総IgE抗体、好酸球、TARC(Th2ケモカイン)が高値になります。乳幼児期の過度な食事制限は逆効果との意見もあり、治療については専門医にご相談ください。



医療法人 祥佑会

藤田胃腸科病院

〒569-0086 高槻市松原町17-36

TEL 072-671-5916

FAX 072-671-5919

健康♪外来

水曜日 14:00～17:00(要予約)

担当：中嶋